

この度、第 115 回あしぎん景況調査の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. 今回のポイント

企業の業況感は、依然として水面下ではあるが、昨年 7～9 月期を底に改善傾向にある。

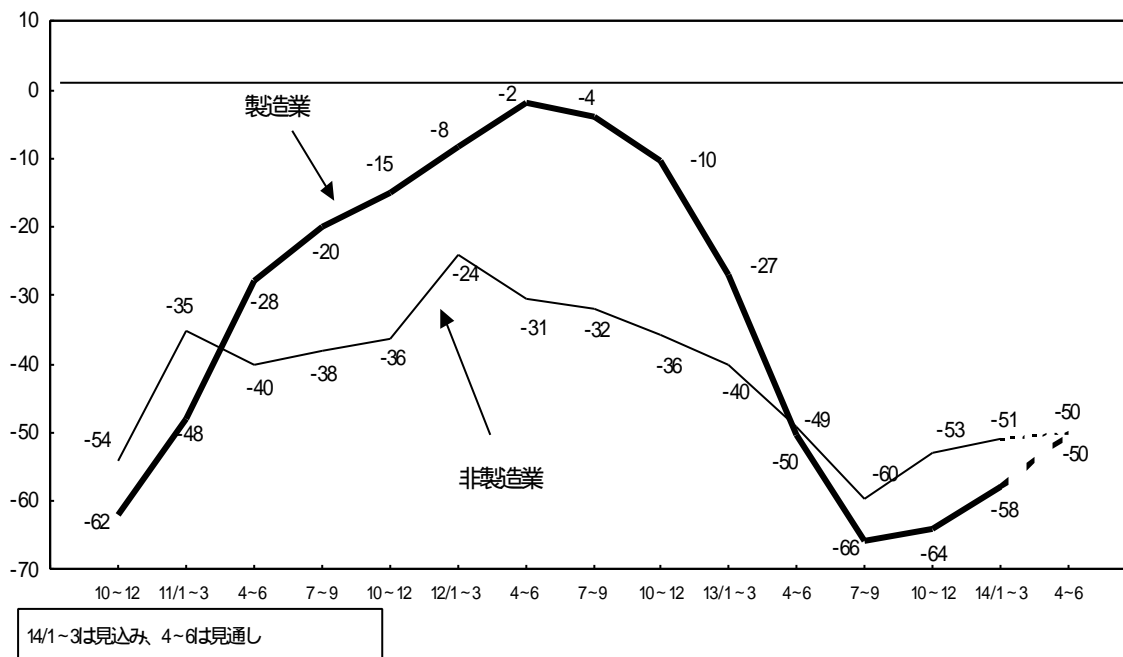
今期（14 年 1～3 月期）の業況判断 D.I. 値は、製造業が 58、非製造業が 51 となった。前期（13 年 10～12 月期）に比べ、製造業が 6 ポイント、非製造業が 2 ポイントと改善した。

来期（4～6 月期）は、製造業が 50 と今期に比べ 8 ポイント改善し、非製造業は 50 と 1 ポイント改善する見通しである。

製造業は、在庫調整の進展から 2 期連続でマイナス幅を縮小するなど回復傾向にある。しかし、設備や雇用の過剰感が根強く、設備投資も抑制姿勢が続いているため、企業活動が本格的な回復軌道に乗っているとは言い難い。

一方、非製造業もマイナス幅を縮小しているが、内需の低迷により動きは鈍いものとなっている。

業況判断 D.I. 値



2. 概要

(1) 製造業

今期実績見込み(14年1~3月期)

- ・業況(業況判断D.I.値) 58.....前期(13年10~12月期)実績を6ポイント上回った
- ・経常利益(前年比増減D.I.値) 46.....前期実績を5ポイント上回った
(水準D.I.値) 26.....前期実績を5ポイント下回った
- ・設備投資(実施企業割合) 62%.....前期実績を1ポイント上回った
(投資額D.I.値) 12.....前期実績を6ポイント上回った
- ・雇用(増減D.I.値) 39.....前期実績を1ポイント下回った
(適正水準D.I.値) 38.....前期実績と同ポイントとなった
- ・経営上の問題「需要減退」次いで、「競争激化」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(14年4~6月期)

- ・業況(業況判断D.I.値) 50...今期(14年1~3月期)見込みを8ポイント上回る
- ・経常利益(前年比増減D.I.値) 40.....今期見込みを6ポイント上回る
(水準D.I.値) 23.....今期見込みを3ポイント上回る
- ・設備投資(実施予定企業割合) 58%.....今期見込みを4ポイント下回る
(投資額D.I.値) 15.....今期見込みを3ポイント下回る
- ・雇用(増減D.I.値) 35.....今期見込みを4ポイント上回る
(適正水準D.I.値) 35.....今期見込みを3ポイント下回る

(2) 非製造業

今期実績見込み(14年1~3月期)

- ・業況(業況判断D.I.値) 51.....前期実績を2ポイント上回った
- ・経常利益(前年比増減D.I.値) 40.....前期実績を1ポイント上回った
(水準D.I.値) 15.....前期実績を4ポイント下回った
- ・設備投資(実施企業割合) 47%.....前期実績を4ポイント下回った
(投資額D.I.値) 26.....前期実績を11ポイント上回った
- ・雇用(増減D.I.値) 29.....前期実績を1ポイント下回った
(適正水準D.I.値) 11.....前期実績を4ポイント上回った
- ・経営上の問題「需要減退」次いで、「競争激化」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(14年4~6月期)

- ・業況(業況判断D.I.値) 50.....今期見込みを1ポイント上回る
- ・経常利益(前年比増減D.I.値) 38.....今期見込みを2ポイント上回る
(水準D.I.値) 12.....今期見込みを3ポイント上回る
- ・設備投資(実施予定企業割合) 44%.....今期見込みを3ポイント下回る
(投資額D.I.値) 34.....今期見込みを8ポイント上回る
- ・雇用(増減D.I.値) 24.....今期見込みを5ポイント上回る
(適正水準D.I.値) 14.....今期見込みを3ポイント上回る